

公益財団法人 J F E 2 1 世紀財団  
2022 年度 事業計画書

I. 大学研究助成および大学教材・鉄鋼関連出版物の作成・寄贈事業  
(公益目的事業 1)

ア 技術研究助成 (公募)

当財団は 1990 年 12 月の設立以降、31 年間にわたり一貫して「21 世紀における創造的発展をめざす鉄鋼産業及び関連産業に資する技術研究への助成」を主要な事業として継続し、リーマンショック及びその後の円高によって財団収入が減少した時期も含めて、毎年 20 件の助成を維持してきた。2013 年度以降は運用環境の好転に恵まれたため、助成件数を 25 件に増加した。

21 年度は計画の助成 25 件に加えて、収支状況に余裕があった点ならびに年度途中の寄付金受け入れを考慮して、3 件を追加で助成した。22 年度についても同様に 21 年度に受け入れた寄付金の活用ならびに安定した収支状況を考慮し、3 件を増加した 28 件の助成を実施する。

- (1) 助成金総額 56,000 千円 (2,000 千円/件×28 件)
- (2) 助成対象者 日本の大学と公的研究機関に所属する研究者  
国籍不問、直近 3 年の受領者は非対象
- (3) 助成対象研究
- ・鉄鋼技術研究 鉄鋼材料、製造プロセス、鉄鋼副産物を対象とする基礎／応用研究。  
(14 件程度) 計測・制御・分析・計算科学・数値解析等で鉄鋼を対象とする関連技術や生産技術の研究を含む。
  - ・地球環境・地球温暖化防止技術研究  
(14 件程度) 地球環境保全と地球温暖化防止を目的とした技術開発を対象とするエンジニアリング (工学) に関係する基礎、応用技術の研究
- 合計件数 (原則) 28 件
- (4) 公募期間 2022 年 4 月 18 日(月)～6 月 20 日(月) (約 2 ヶ月間)
- (5) 審査・選考方法 理事会にて選任した技術研究助成審査委員 12 名の合議により、助成対象候補者 28 名を選考しその審査報告に基づいて理事長が決定し、10 月初旬迄に公表する。
- (6) 助成金交付 2022 年 12 月中旬
- (7) 研究期間 2023 年 1 月開始。原則 1 年間 (1 年ないし 2 年間に限り延長可)
- (8) 研究報告 研究期間終了後、財団に研究報告書を提出する。  
これを提出年度の「技術研究報告書」に掲載し、研究成果を公開する。

## イ アジア歴史研究助成（公募）

2005年度から開始したアジア歴史研究助成は、「21世紀アジアに共存共栄するための日本の産業と文化の Vision 構築に資するアジア歴史研究への助成」としてアジア研究者の間で定着し、2022年度で18年目となる。2012年度までは助成件数を7件としてきたが、2013年度から技術研究助成同様、助成件数を10件に増加した。

21年度は計画の助成10件に加えて、収支状況に余裕があった点ならびに年度途中の寄付金受け入れを考慮して、2件を追加で助成した。22年度についても同様に21年度に受け入れた寄付金の活用ならびに安定した収支状況を考慮し、2件を増加した12件の助成を実施する。

- (1) 助成金総額 18,000千円（1,500千円/件×12件）
- (2) 助成対象者 日本の大学と公的研究機関に所属する研究者  
国籍不問、直近3年の受領者は非対象
- (3) 助成対象研究 アジアの歴史を対象とし、21世紀アジアと共存・共栄するための、日本の産業と文化の Vision 構築に資する研究
- (4) 公募期間 2022年4月18日(月)～6月20日(月)（約2ヶ月間）
- (5) 審査・選考方法 理事会にて選任したアジア歴史研究助成審査委員4名の合議により、助成対象候補者10名選考しその審査報告に基づいて理事長が決定し、10月初旬迄に公表する。
- (6) 助成金交付日 2022年12月中旬
- (7) 研究期間 2023年1月開始。原則1年間（1年ないし2年間に限り延長可）
- (8) 研究報告 研究期間終了後、財団に研究報告書を提出する。  
これを提出年度の「アジア歴史研究報告書」に掲載し、研究成果を公開する。
- (9) シンポジウム 2017年度から、助成研究者がその研究成果を発表する場として、「アジア歴史シンポジウム」を審査委員の所属する大学との共催で開催している。  
2022年度は秋に21年度の助成対象者を中心に開催を計画する。

## ウ 大学教材・鉄鋼関連出版物の作成・寄贈

2019年1月に改定刊行した「鉄鋼工学（プロセス編）、（材料編）」について、希望者への配布を継続して行う。なお財団ホームページで改訂版閲覧ができるようにしている。また2017年3月刊行の「たたら日本古来の製鉄（増補改訂版）」も希望者への配布を継続する。

## II. 文化振興事業（公益目的事業2）

### ア 鉄鋼に縁のある地域への貢献

音楽、美術、伝統継承（囲碁・将棋・芸能）、町おこし、コミュニティ活動、文化財保存の活動など地域社会の文化活動に協賛金を授与する。

#### 【2022年度の地域別協賛事業（計画）】

| 地域  | 協賛事業               | 備考          |
|-----|--------------------|-------------|
| 千葉  | 千葉県少年少女囲碁連盟        |             |
| 千葉  | 趙治勲杯囲碁大会           |             |
| 千葉  | 千葉市音楽協会（第九演奏会他）    |             |
| 千葉  | 千葉交響楽団（ファミリーコンサート） |             |
| 川崎  | MUZA ランチコンサート      |             |
| 川崎  | ふれあい祭り             |             |
| 半田  | はんだふれあい産業まつり       |             |
| 半田  | 衣浦みなとまつり花火大会       | 新規：市政 85 周年 |
| 三重  | 三重県高等学校ロボット競技大会    |             |
| 倉敷  | 倉敷音楽祭              |             |
| 倉敷  | 白壁倉敷将棋フェスタ         |             |
| 福山  | 福山ばら祭              |             |
| 福山  | 芸能大全～まつりの世界～       |             |
| その他 | 上記の趣旨に適合する公益的活動    | 理事長の承認により執行 |

- ・コロナ禍の影響で 20、21 年度は協賛事業の開催中止が相次ぎ、予算消化が困難となった。それを考慮し、年度中に新たな協賛要請や増額要請が来た場合は、理事長の承認により前向きに伝えていきたい。

### イ 海外子女文芸作品コンクールへの協賛と文集の寄贈

- (1) 公益財団法人海外子女教育振興財団が主催する「海外子女文芸作品コンクール」に協賛し、審査委員を派遣するとともに、「J F E 2 1 世紀財団賞」を授与する。
- (2) 「海外子女文芸作品コンクール」の優秀作品を掲載した文集「地球に学ぶ」の作成費を負担し、鉄鋼に縁のある地域の小中学校、図書館等に寄贈する。（約 2,400 冊）  
（寄贈先小中学校、図書館等の所在市町村）  
千葉、川崎、半田、武豊、津、倉敷・近郊 2 市町村、笠岡、福山

以上